

⑫ 公開特許公報(A)

平3-161427

⑤Int. Cl.⁵ 識別記号 庁内整理番号 ④公開 平成3年(1991)7月11日
 A 61 K 7/075 6737-4C
 7/00 K 9051-4C
 7/50 7252-4C
 35/80 ADA Z 8412-4C
 // A 61 K 7/06 6737-4C
 7/08 6737-4C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑥発明の名称 洗剤及び基礎化粧品

②特 願 平1-302668

②出 願 平1(1989)11月21日

⑦発 明 者 麻 田 秀 雄 石川県金沢市久安6丁目148番地
 ⑦出 願 人 麻 田 秀 雄 石川県金沢市久安6丁目148番地
 ⑦代 理 人 弁理士 宮田 正道 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

洗剤及び基礎化粧品

2. 特許請求の範囲

(1) ツルアラメから抽出したエキスを成分とするシャンプー

(2) ツルアラメから抽出したエキスを成分とする基礎化粧品。

3. 発明の詳細な説明

〔 産業上の利用分野 〕

本発明は身体や頭髮等の洗剤及び洗顔フォーム、クレンジングクリーム、ヘアーリンス等の基礎化粧品に関するものである。

〔 従来の技術 〕

従来、洗剤や基礎化粧品に各種植物のエキスを成分としたものは多く開発されている。

又、海藻が皮膚や毛根に良い影響を与えることも想像できるが、コンブ、ワカメ、アラメ等の褐藻類は高分子量(5000~10000以上)であるため可溶性がなく、温水で抽出することができ

ない。

したがって、海藻の特に褐藻類はエキスを多量に抽出できず、褐藻類のエキスを成分に含むシャンプー或は基礎化粧品は存在しないのである。

そして、褐藻類であるツルアラメについても、エキスの抽出方法は知られておらず、そのエキスを利用した洗剤及び基礎化粧品も存在しないのである。

〔 発明が解決しようとする課題 〕

上記の点に鑑み、従来、海岸近くに多く生育し、利用価値を見出せなかったツルアラメに着目し、そのエキスを抽出し、利用分野を開拓したものである。

〔 課題を解決するための手段 〕

本発明は、ツルアラメから抽出したエキスを成分とするシャンプー及び基礎化粧品としたものである。

ツルアラメ(能登沖で採集した俗称カジメ)に含まれる成分は、次の通りである。

成 分	乾燥カジメ(1g中)
アルギン酸	712.9mg
カルシウム	8.7mg
ヨウ素	0.7mg
カリウム	54.9mg
ナトリウム	24.8mg
マグネシウム	6.3mg
ストロンチウム	1.0mg
亜鉛	0.04mg
鉄	0.03mg
銅	0.01mg
マンガン	0.004mg

ツルアラメの特に低分子量(500前後)のものは温水で可溶性があり、高濃度のエキスを抽出できる。

そして、抽出したエキスをアルギン酸カリウムやアルギン酸カルシウム等のアルギン酸塩、アラニンやアスパラギン酸等の各種アミノ酸、及び多くの多糖類が含まれている。

更に、ツルアラメは多量に、しかも、簡単に入手でき、従来は食用に供されることがなく放置され、船舶の害ともなっていたものを有効に利用できる分野を見出したことも意義あるものである。

(実施例)

エキスの抽出は、

- 十分に乾燥したツルアラメ(能登沖で採集した俗称カジメ)を水洗いした後、再び乾燥させ、先ず、3〜5cm程度に細断し、次に微粉末(100メッシュ程度)としたものを原料とする。
- このツルアラメの微粉末100gを精製水1kgに重炭酸ナトリウム10gを加えた溶液に約24時間浸す。
- 次に、1,3-ブチレングリコール100gを加え、80°Cで3時間加熱し、更に精製水2kgを加え、50°Cの温度で24時間温浸することでツルアラメのエキスの抽出液となる。
- この抽出液を温時に細かい網で2度ろ過し、その後、室温で24時間放置した結果、褐色の粘稠性のある無臭の液体を得られた。

(作用)

ツルアラメには低分子量(500前後)のものがあり、低分子量のものは温水で可溶性があり、高濃度のエキスを得られ、公知のシャンプーや基礎化粧品への配合が容易である。

又、アルギン酸塩、多糖類を始め、各種アミノ酸等を含有し、これらの天然有機物が皮膚に活力を与える作用を営むものである。

(発明の効果)

ツルアラメの抽出エキに含まれるアルギン酸塩は、肌や髪に艶を与え、各種アミノ酸は円やかさを与え、更に多糖類は潤いを与えるものであって、皮膚や髪に有効なシャンプー又は基礎化粧品となる。

又、天然のエキスであるため副作用の心配もない。そして、低分子量のツルアラメを原料とすれば温水で可溶性があり、エキスの抽出が容易で、しかも、多量に濃いエキスを簡単に入手できるものであって、シャンプーや基礎化粧品への添加が極めて容易である。

この得られたツルアラメのエキスを実験マウスに3回塗りの観察実験をしたところ、皮膚や毛根には炎症は全く見られず、塗布しないマウスより毛の発育が良いように思われた。

特 許 出 願 人 麻 田 秀 雄
代 理 人 宮 田 正 道
同 宮 田 庄 太 郎

